

扶養の申立書

組合員証番号					
1	2	3	4	5	6

組合員氏名	福利 太郎	所属所名	△△小学校	前年の年間総収入額	7,500,000 円
-------	-------	------	-------	-----------	-------------

1 認定を受けようとする者について

氏名	福利 とよ	性別	女	生年月日	明(昭)大平	〇〇年 〇月 〇日生	年齢	〇〇 歳
同・別居の別	同居 別居	組合員との続柄	母	現在まで加入していた保険	公立学校共済組合	職業(在学名)	なし	
年間総収入見込額				1,650,000 円…①				
(内訳) A 公的年金(恩給・扶助料含む)等の年額				遺族年金 1,200,000 円 国民年金 450,000 円		B 自営業・農業等による収入の年額		円
C パート・アルバイトを含む給料所得の月額						D 雇用保険金の日額		円
E 資産収入(地代・家賃・利子・配当等)の月額						F その他(年額・月額・日額)		円

2 認定を必要とする事情

① 組合員が扶養している実態(扶養事実発生日、扶養状況)	母は、平成〇〇年6月に父が死亡した後、遺族年金120万円を受給することになりました。収入増額のため扶養手当を受給できなくなりましたが、主として私の収入により生活しています。 なお、私には妹と弟がおりますが妹は他家に嫁いでおり無職であり、弟は遠方におります。
② 従来扶養してきた者が扶養できなくなった理由	
③ 認定を受けようとする者の所得の変動(具体的に)	
④ 別居の場合はその状況(父母等の場合は下記3に送金・送金見込額を記載)該当内容を詳しく記入してください。	

3 別居している父母等への送金(見込み)等 (送金のみならず生計維持するための収入すべてを含む) *認定基準A>E

組合員の送金など(年額)	A	円
組合員以外の者の送金等(年額) 複数の場合は個別に記載	B	円
認定を受けようとする者の総収入(上記①)	C	円
(A+B+C) =	D	円
D×1/3 =	E	円

4 組合員の家族について

氏名	続柄	同・別居の別	年齢	職業(勤務先)	前年の年間総収入額
福利和歌子	妻	同・別	49 歳	なし	0 円
福利一郎	長男	同・別	25 歳	公務員	3,500,000 円
福利陽子	長女	同・別	23 歳	無職	0 円
福利二郎	二男	同・別	20 歳	大学生	0 円
		同・別	歳		円

上記のとおり申し立てます。
平成〇〇年 〇月 〇日

申告者・請求者氏名欄は自筆でお願いし

公立学校共済組合和歌山支部長 殿

組合員氏名

福利 太郎 (福) 印